

令和6年度 学校評価の概要

本年度の学校評価は、生徒、教職員、保護者、そして学校評議員の皆様のご協力を得て実施されました。調査は令和6年12月から翌年1月にかけて行われ、1061名に依頼し、93.3%（990名）の回答を得ました。その結果を基に、学校教育活動の成果や課題を明らかにし、次年度の教育活動の活性化を目指します。

1. 全体の評価

- ・各項目について学校の状況や対応を支持・支援する意見が多く見られ、例年と比較しても大きな変化は見られなかった。
- ・一部の項目では、成果が不十分とみられるものがあったが、これらの結果を真摯に受け止め改善に努める。

2. 分析結果

- ・34.4%の項目で前年以上、45.9%の項目で前年同となる高い評価が得られた。特に、学校行事に関する項目で高評価を得た。
- ・「部活動の環境（生徒）」の0.2ポイント増は、様々な資源の効果的運用による成果と考えられる。
- ・「緊急連絡メールなどの連絡体制（保護者）」の0.2ポイント増から、前年比3倍のメール発信により、保護者に対して十分に情報提供できたと考えている。
- ・「いじめに対する適切な指導・対応（教職員）」の0.4ポイント増は、教職員のいじめ根絶にむけた強い意志の表れと考えている。
- ・「文武両道を目指す指導（学校評議員）」の0.6ポイント減は、運動部の目に見える成果が少なかったことによるものと思われる。
- ・改善が必要とされる項目として、「節電」「通信回線」「情報提供」「文武両道」「多忙化解消」があげられる。

3. 今後の対応について

- ・アンケートの結果を踏まえ、課題の早期改善に向けた取り組みを継続する。
- ・組織的な取り組みを充実させ、否定的な回答の減少を目指す。
- ・さらなる情報発信により、教育活動の成果の周知を進める。

本校は、課題の改善に努めるとともに、関係の皆様への周知を徹底し、理解を深めていただくための努力を続けてまいります。今後も地域社会と学校との相互理解に基づいた学校運営を進め、「地域に根ざした学校」の一層の推進を図ります。引き続き本校の教育活動に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。